



3学期がスタートしました!



あけましておめでとございます。

平成もあと4カ月となりました。イノシシ年は何かと変化の年といわれます。顔は上を向きながらも地に足をつけた三輪小学校でありたいと考えております。

3学期は、短い学期です。イク1月、ニゲル2月、サル3月といえます。気が付けば年度末にならないように1日1日を大切にしていきたいものです。4月には学年が上がります。6年生は中学校に上がります。不安をなく自信をもって進めるように、学校と家庭の連絡を密にして、子どもを見守って育てていきましょう。よろしくお祈りします。(子どもへの光の当て方に違いがあるのです)

しかり下手 ほめ上手

愛情の「伝達方法」

- あの子は口で言ったぐらいじゃわからないのです
- なんでよその子はできるのにうちの子は
- ほめろほめろと言いますが、ほめられるようなことをしないのです。当然のことばかりで。
- うちの子はほめられるのは苦手のようで・・・
- 怒鳴ってから、しまったと思うんです。
- ほめられるからやるのというのはどうですかね。

子どもを思い通りに動かしたい、ゆっくりした変化を容認できない、成果が出ないと無力感に味わってしまふ。〈ありますよね。こんな時〉

子どもとのかかわりの中で、「叱る」と「ほめる」は、子どもが自分で考えて行動を選択し、その行動に責任をもっていく力を育てるコミュニケーションです。けっして2つで子どもを支配するものではありません。

正しい叱り方ほめ方は、いろいろ言われますが何にでもきく共通の言葉はありません。そのあった言葉を探すのは親と教師の責任なんですよ。

学校では

教育の目標や計画、集団の兼ね合いの中でほめたり叱ったり。意図的計画的に子どもの成長を支援しています。多面的な見方をしています。成長は一直線の上昇カーブを描くとは思っていません。

家庭では

兄弟や家族の関係はあるものの、その子ども中心に見てほめたり叱ったり。子どもにとって自分だけを中心に見てくれるからこそ安心して成長します。それだからこそ親は子どもを育てることができます。

学校と家庭ではおのずと方法は違います。注意点は、家庭では自立に焦点が当たるために、社会性が弱いところです。また、心配なのは、安易にほめ続けるとほめられる自分だけを表示しようとします。ほめられない自分が出たときに心配です。「おとなしく良い子」が豹変してしまうことが怖いのです。大人になったときにこうなると心配です。叱り方ほめ方を考えながら、目標は「たくましく」育てていきましょう

全県大会惜敗!

男子バスケットボール部の皆さんお疲れ様でした。全県大会では、優勝した朝倉チームと対戦し43対66でした。前半は1点差と均衡したゲームでした。これまでの一人一人の頑張りを讃えたいと思います。お疲れさまでした。

このあとのスキー教室

- 17、23日 5,6年スキー <ジュネス>
- 18、24日 3,4年スキー <天下森>
- 31日 1,2年スキー教室 <五輪坂>

ブログ開設しました

ホームページに三輪小学校ブログを開設しました。その中で毎日の学校の様子をお知らせしていきたいと思ひます。日々成長する子どもたちを感じ、学校での教育活動に関心とご理解をいただきたいと思ひます。尚コメントを受け付けておりませんので、何かご意見がありましたら担任を通じてお願いいたします。2月に入りましたら保護者アンケートを配布いたします。スキー教室までの三輪小学校の教育活動についてのご意見をいただきたいと存じます。

ブログは、ホームページ上からでも入っていただけますが、下の「QRコード」をスマホで読み取っても可能です

各種情報も載せます。
(緊急の場合は一斉メールですが)



校長の話

新年おめでとうございます。平成最後のお正月はどうでしたか。「おめでとう」とたくさん言いましたか。お正月にくる年神に何かお願いごとをしましたか。〇〇のように、もっと〇〇になればいいな、と、ほとんどの人が願ったのではないかと思います。

正月だけでなくこうなればいいなと思うことを「願」といいます。いつも心ひそかに持ち続けることです。そして、それが、自分のことから家族、学級のお友達、学校、羽後町、秋田県、日本、世界と大きくなればなるほど、大きな心、豊かな心になると思います。

私は、まず家族がいつも健康で安全に暮らせますように、そして、三輪小の子どもが健やかに成長すればいいな、そして、日本が平和で、世界中の人々が幸せになればいいなという「願」をもっています。「願」は必ずしも叶うものでないかもしれませんが、「願」をもっている人の目や表情の輝きが違ってくるのです。

さて、一番短い3学期ですが、私は「元気な三輪小学校」でいることを願っています。そのために2つお願いします。

一つ目は、いつでも、人に言われなくても人が見ていなくても「やっている」みわっこになってほしいことです。小学校では、将来自分で何でもできるようになるための勉強をします。自立といいます。それは人に言われてからやるものではありません。自分がやっている檀家になるためには、最初は人から教えられて「わかる」です。その次にやってみたことで「できる」ようになります。しかしこれではまだ足りません。自分で「やっている」というとことまでいかなければなりません。掃除を例にすると（省略）

元気丸からのメッセージは、人に言われなくてもやってる自分になろうです。

2つめは、相手のことを考えるみわっこです。こんなことを言ったら、またはしたらいやだろうな。〇〇ちゃんは今頑張っているのだから応援してあげようかな。こんな仲間になってほしいのです。じぶんだけよければいいのではないのです。私たちの住んでいるこの社会は、人と人がみんな幸せにならなければならないのです。絶対にいじめがあってはいけません。人は考えはみんな違うのです。違ってよいのです。違うからこそまわりの人を大切にしていきましょう。やり方は簡単です。周りの人にすぐにありがとうを言うことです。ありがとうの言葉が優しちゃんからのメッセージです。

3学期学校に来る日は6年生は45日、5年生以下は47日です。その間にスキー教室、6年生を送る会、卒業式などがあり忙しいかもしれません。だから、今の学年をきちんとしめくくり、新しい学年に進むために、今の学年で学習したことが分かるまでがんばってほしいと思います。4月に立てた目標がどうだったのか、1年間で自分はどこがよくなったのかを確かめてください。そして、もし足りないところがあったら、やり残さないでありったけの力でがんばって、新しい学年をむかえるようにがんばりましょう。